



かしこく・やさしく・たくましく

西中野

平成 28 年度 4 月 (457) 号
平成 28 年 4 月 6 日
中野区立西中野小学校
校長 杉 渕 尚

特別支援教育の視点にもとづいた授業改善

校長 杉 渕 尚



桜花の季節がめぐり、新しい年度が始まろうとしています。どの子供たちも新しい学年に上がり、気持ちも新たに希望にあふれる笑顔で登校してくれました。学校では教職員が力を合わせ子供たちの成長のために様々な教育活動の充実を図っていきます。この1年間、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

■□■ 研究発表に向けて ■□■

昨年度は開校50周年の年ということで、全校で周年を祝い、保護者・地域・同窓生の皆さんにも多くのご支援をいただきました。改めて感謝を申し上げたいと思います。

さて、本年度の西中野小学校の大きな取り組みのひとつは中野区教育委員会の学校教育向上事業を受け、12月2日(金)に行われる研究発表会です。これは区内の学校から選定され、テーマに基づいた研究を進め、その成果を広く区内外に発表するというものです。区立学校の責任として真摯に研究に取り組みその成果を発表していきたいと考えています。

西中野小学校が取り組む研究テーマは「どの子供も分かる・活躍できる授業を目指して～特別

支援教育の視点に基づいた授業改善～」です。近年、日本の教育では特別支援教育の充実・推進が求められています。特別支援教育といってもとても広い取り組みが含まれています。一般的に教師は授業を大切にして教育活動を進めています。そして、授業では学級の子供たちを集団として指導することと、一人ひとりの子供たちを大切にした、個に応じた指導が求められます。「特別な支援」というと特定の子供だけに対する教育・支援と思われがちですが、それだけではありません。一人ひとりの子供を大切にした指導を追究していくと、それは学級全体のどの子供たちにとっても分かりやすく、楽しい授業が実現できるのではないかとことです。このような考え方に立って、「どの子供も分かる・活躍できる授業」を目指そうとすることが西中野小学校の取り組みです。

私たちはこの研究発表という機会を教師自身の成長の機会ととらえ、子供たちにも分かりやすく楽しい授業を提供できることを目指して進めていきたいと考えています。

本年度も様々な機会で学校の教育活動をご理解いただき、応援していただくことがあると思います。どうぞよろしくお願いいたします。



「元氣よくあいさつをしよう」

四月の生活目標

生活指導部

新しい学年がスタートしました。入学・進級し、期待で胸がいっぱいだと思えます。今年度も、次の生活指導の重点目標を中心に児童の皆さんの安全を全教職員で見守っていきます。

・ 気持ちの良いあいさつをしよう

・ 話をしっかり 聞こう

・ やさしく正しい言葉づかいをしよう

特に、今月は、あいさつに重点をおいて取り組みます。あいさつは、心と心のキャッチボールにもなります。大きな声であいさつをすると自分や周りの人も気持ちがよくなりますし、あいさつは、心と心のキャッチボールにもなり、お互いの心が通じ合います。

西中野小が、今年度も毎日、元氣なあいさつであふれ、安全な生活が過ごせるようになるよう指導を進めていきます。

保健目標

「自分のからだを知ろう」

給食目標

「給食のきまりを知ろう」